

【算数・小6・角柱と円柱の体積の求め方を考えよう】①

育成を目指す資質・能力

(知識・技能) 角柱や円柱の体積は、「底面積×高さ」にまとめられることを理解し、角柱や円柱の体積を、公式を用いて求めることができる。
(思・判・表) 図形を構成する要素に着目し、角柱や円柱の体積の求め方について、図や式を用いて考え、説明している。
(学びに向かう力等) 角柱や円柱の体積の求め方を公式として導いた過程を振り返り、多面的に検討してよりよいものを目指して粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

ICT活用のポイント

文書作成ソフトを用いて互いの考えを共有し、考えを深めることを目指す授業

【つかむ】

立体の体積を求めることに
興味をもち、学習の見通しをもつ

【個で追究する】

既習事項を活用して、どのように
考えればよいか試行する

【ペア、全体で交流する】

文書作成ソフトを用いて互いの考えを
共有し、それぞれの考えを比較する

【まとめる】

考え方を確かめながらまとめ、
適用問題に取り組む

事例の概要

【事例におけるICT活用の場面①】

- ・一人に対して一つの文書作成ソフトを割り当て、立体の体積を求める方法について何枚も自由に考えを書きことができるICTのよさを生かせるようにする。
- ・色を使い分けるなど、書き方を工夫させ、自分の考えを整理したり、相手に分かりやすく伝えたりできるようにする。

【事例におけるICT活用の場面②】

- ・自分の考えが思いつかない児童には友達のことを参考にさせる。
- ・全体での交流の際には、自分と異なる考えから考えを深めたり、同じ考えから確かめをしたりできるようにする。
- ・文書作成ソフトの新しいシートに友達の考えをメモさせる。

【算数・小6・角柱と円柱の体積の求め方を考えよう】②

【事例におけるICT活用の場面①】



既習事項を活用して、どのようにすれば体積を求めることができるか個別に試行する。

- 立体の体積の求め方を考える場面でプレゼンテーションソフトの映像を用いることで、視覚的に理解させることができる。
- 教師は自分のICT端末で全体の児童の取組の様子を確認することができる。
- 直方体を組み合わせた複合図形の体積の求め方を考える場面では、文書作成ソフトを用いることで、自分の考えを他の児童に伝えたり、他の児童と考えを共有したりする活動を円滑に行うことができる。
- 発表の場面では、発表する児童のプレゼンテーションソフトの画像を画面に映し出すことで、全体で共有することができる。

【事例におけるICT活用の場面②】



【活用したソフトや機能】

- プレゼンテーションソフト
- 文書作成ソフト

個別に追究した解決方法を、自分のスライドを見せながら、そのように考えた理由や過程を中心に説明し、ペアや全体で交流する。